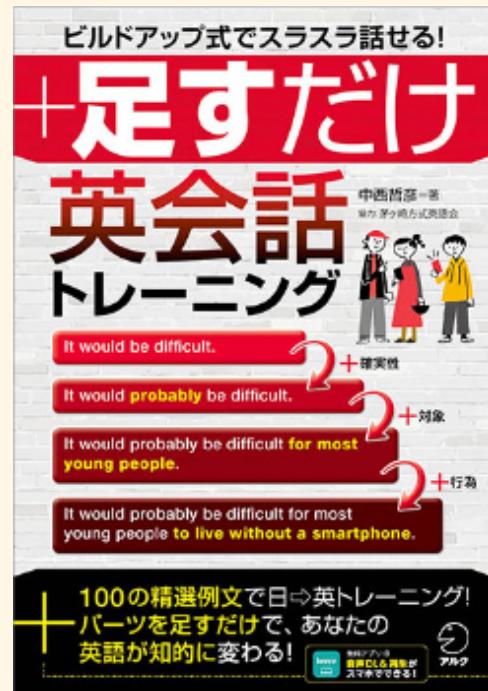


あなたにおすすめのコース・教材（スピーキング学習）

インプット

1 **booco**

スピーキングAdvanced コース（必修本3冊）



2 オンラインセミナー

- ・モチベーションアップ
- ・クリエイティブスピーキング
- ・ロジカルスピーキング (Reasons & Evidence)
- ・ロジカルスピーキング (Giving Opinions Effectively)

アウトプット

3

アルクオンライン英会話

スピーキング
トレーニング
or
フリートーク
(中級・上級)

24回

4 トーキングマラソン



アセスメント

TSST 英語
スピーキング
テスト

Telephone Standard Speaking Test

スピーキングテスト2回

コース目標

- ・日常だけでなく会議やプレゼン、交渉の場で適切な英語を瞬間的にアウトプットし、円滑なコミュニケーションができるようにする(フォーマル/インフォーマルな表現の使い分けができる)。
- ・トピックについて自分の考えを明確にし、接続詞や分詞構文、関係詞などを用いた長い英文をたくさん言えるようにする。
- ・新たな表現をActiveボキャブラリー(当たり前に使える表現)へと変換していく。

学習目安時間

1日 19分

(総合学習時間 約58時間)

*TSST受験時間除く

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学ぶ順番・学習スケジュール例（6か月間）

	インプット				アウトプット		アセスメント
	1	2	3	4	5		
コース・教材	<p>booco スピーキングAdvancedコース(必修本)</p>  		<p>オンラインセミナー</p>  <p>①モチベーションアップ ②クリエイティブスピーキング ③ロジカルスピーキング (Reasons & Evidence) ④ロジカルスピーキング (Giving Opinions Effectively)</p>	<p>アルク オンライン英会話</p> <p>スピーキングトレーニング or フリートーク (中級・上級)</p>	<p>トーキングマラソン</p> 	<p>スピーキングテスト</p> 	
進度	ユニット数	ユニット数	ユニット数	本数	レッスン数	ユニット数	—
進度目安 1か月目	1 - 35	全47ユニット	—	最初の1か月で①～④を視聴	1-4回目	20程度	受験
進度目安 2か月目	36 - 65			学習しながら、困ったときにいつでも見直す	5-8回目	20程度	—
進度目安 3か月目	66 - 100				9-12回目	20程度	
進度目安 4か月目	—	—	1 - 35		13-16回目	20程度	
進度目安 5か月目			36 - 65		17-20回目	20程度	
進度目安 6か月目			66 - 96		21-24回目	20程度	受験

※所属企業の修了条件を必ず確認し、修了条件がある場合は、そちらを優先してご受講ください

学習スケジュール例（1週間）

5～6日間 ※				1日間			
1か月目～ 3か月目	インプット	1	足すだけ 英会話 トレーニング	7～8 ユニット	インプット	2	オンライン セミナー
		3～4 ユニット（3か月） or 1～2 ユニット（6か月）	アウトプット	3	スピーキング トレーニング or フリートーク (中級・上級)	1回	最初の1か月で4本すべてを見るのがおすすめ
4か月目～ 6か月目	アウトプット	4	英語で仕事をすることになったら読む本	5ユニット程度	アウトプット	3	1回
		スピーキング トレーニング or フリートーク (中級・上級)	5ユニット程度	アウトプット	スピーキング トレーニング or フリートーク (中級・上級)	1回	

※本スケジュールを参考に1週間の計画をご自身の都合に合わせて組み立ててください。
 例) 「1週間毎日勉強する」 「1週間のうち1日は休み、ほかの6日間で勉強を進める」 等

学習の進め方・学習のポイント

インプット

1 booco

アプリの各レッスンに沿って学習をすすめる ([booco使い方を見る](#))

2 オンラインセミナー

最初の1カ月ですべて視聴することをおすすめ。疑問に感じた時にいつでも戻ってきて参考に。[\(オンラインセミナーページを見る\)](#)

アウトプット

3 アルクオンライン英会話

[スピーキングトレーニング]

- ①毎回使用したい英文法表現/構文を決めて授業に臨む。
- ②5つ[中級/上級]のファンクション(スピーキングトレーニングテキスト参照)をベースに、講師と一緒に授業を進めていく。その中でも「自分のことを話す」ファンクションにまずは焦点を当てる。
- ③講師から新たな表現や文法について説明をされたら、ノートにメモをとる。最低一つの知識を積み重ねていく。

[理想]新しい表現をメモしたら、それを使って英作文をしてみる(口頭でもよい)。

[フリートーク]

- ①毎回使用したい英文法表現/構文を決めて授業に臨む。
- ②[中級/上級]受講生がトピックを事前に決め、講師と実践していくのが理想的。身近なトピックを選び、それについて"言いたいこと"を英文で作成し用意しておくこともおすすめ。本番がたとえスピーチのようでも、発話量が増え当たり前に使用できる英語表現が増えればOK!

4 トーキングマラソン

各スキットに沿って学習をすすめる ([使い方を見る](#))

アセスメント

5 TSSTスピーキングテスト

9段階レベルとスコアで判定し、スピーキング能力の詳細分析が可能です。あなたに効果的なトレーニング方法の詳細も提示されますので、受験をおすすめします。詳しくは受験期間前日に送信される「英語スピーキングテストTSST受験のご案内」をご覧ください。

プラスαの勉強法・追加のおすすめ学習教材

プラスαの勉強法



booco[足すだけ英会話トレーニング]

- ①日本文を読んだ瞬間に言いたいことを概念化(イメージ)してみる。
- ②*SとVを意識して、英文を言ってみる。特に文頭の入りを決める。主にSをどうするか考える(模範解答とSが違ってもよい)。
- ③模範解答を確認し、音読してみる(3回から5回)。
- ④メインとなる表現を抽出し、自分で英文を作成してみる(Extraction and Application)。その際、出来るだけ長い英文を作ってみる(いつ?どこで?だれが?何を?なぜ?どのように?などの情報を追加していく)。

(例) 【抽出した表現】 from home and abroad (国内外から)

【自分で作成した英文】 A lot of spectators from home and abroad came to this stadium to watch the final game of World Cup 2022.

- ⑤テストへ進み、最終確認を行う。

*S:何々は[が]、誰々は[が] V:～する、～である、～にいる

追加のおすすめ学習教材

NetAcademy Next



メインコース・教材中心に取り組み、学習時間に余裕がある方は「追加学習コース」に取り組むことをおすすめします。

総合英語トレーニング 上級コース

学習時間確保のコツ

「学習時間を確保できない」は多くの英語学習者が持つ悩みです。勉強時間の確保にはコツがあります。時間を削って新たに学習時間を生み出すのではなく、見つけることが重要です。

毎日のルーティンとセットにする

- ✓ 生活パターンを把握して学習時間を見つける
- ✓ 無理のない形で、今の生活パターンを崩さないように学習計画を組み込む

無理に思える学習計画（例えば、「自宅で夕食後に1時間」「朝早起きして1時間」「帰宅後に趣味の時間を削って1時間」等）では時間が確保できず、学習が続きません。週末には可能であればじっくり取り組む時間を取りたいのですが、重要なのは「無理のない形で、今の生活パターンを崩さないように学習計画を組み込む」ことです。ルーティンとセットにして、学習を継続しましょう。

ルーティン

- 電車に乗る（行き）
- 電車に乗る（帰り）
- 会社の昼休み
- 入浴前・後
- 寝る前にスマホを見る
- お弁当を作る（平日）

ルーティンとセットにする

- 電車での行き帰りの15分
- 昼食後の10分
- 入浴前後の15分
- 寝る前の5分
- お弁当作りの時（リスニング学習）等